

2019年度卒業研究分属について

2018年11月22日

名古屋大学理学部数理学科では、卒業要件の1つとして4年次に卒業研究を履修しその単位を修得する事が義務付けられています。来年度は合計22クラスの卒業研究が開設される予定ですが、履修者はそのうちの1つのクラスに所属し、卒業研究を行うこととなります。どのクラスに所属するか分属を決める時期が近づいています。その日程をお知らせします。

☆12月12日(水) 13:00 ~ 15:00 : ガイダンス (多—109)
各クラスの卒業研究の概要を記載したシラバスを配布し、担当教員から内容を簡単に説明してもらいます。また、卒業研究分属および履修にあたっての注意事項を説明しますので必ず参加して下さい。

- ・12/12(水) ~ 1/16(木) : 担当教員によるオフィスアワー
- ・1/9(水) 17:00 : 分属希望調査提出締切
- ・1/10(木) 12:00頃 : 分属希望調査結果発表
- ・1/16(水) 15:00 : 分属希望本調査提出締切

☆1月23日(水) 13:00 ~ 14:00 : 分属のための集まり (多—509)
分属の結果を発表します。定員超過により本調査で分属されなかった学生を対象に、このあとの分属プロセスを再度説明するとともに、再希望先の暫定調査・面談等を行います。既に分属が最終確定しているクラスの担当は、4月からの打ち合わせ等を行います。

- ・1/28(月) 17:00 : 分属希望再調査提出締切
- ・1/30(水) ~ 2/8(金) : 未分属学生に対する分属調整・面談
- ・2/8(金) : 分属最終確定

12月12日のガイダンスと、1月23日の分属のための集まりには、必ず出席して下さい。希望調査の提出締切に遅れた場合など指示に従わない場合には、来年度卒業研究の履修が認められないこともありますので、くれぐれも注意して下さい。

なお、卒業研究を履修するためには、1年次に開講される理系基礎科目の微分積分学Ⅱ、線形代数学Ⅰ、Ⅱの8単位をすべて修得していることが必要です。

数理学科教務委員長
白水 徹也